

# のびのび通信 第87号

2014年2月



さあ、今月は何をするのかな？

活動は、毎回、スケジュールで確認します。今日も、お当番さんが、スケジュールをみんなに配りました。受け取った人は、何をやって、それが終わったら次は何をするのか、一日の流れに見通しを持ちます。

で…。今月はおひな様のリースを作ります。工作が続きますが、工程と終了が明確なところがお気に入りのようです。

最近、工作が大人気ですが、毎回、季節を感じるができるものに挑戦しています。もうすぐ、雛祭り。そこで、今回は、おひな様をリースで作っちゃいました。同じ工作キットのはずなのに、それぞれひと工夫して、オリジナルリースの完成です。



工作では、好き勝手に作業を進めるのではなく、手順が大切です。工作物によっては、活動日前に手順書を送って、予習することもあれば、特性に応じたのびのびオリジナルの手順書を作ることもあります。今回は、細かい作業が多い工作でしたが、キットに同梱されている手順書を参考に作ることにしてみました。これは、毎回、支援のひとつとしてオリジナルの手順書が用意されるとは限りません。日常では、「そこに書いてあるでしょ」の一言で済まされることもあります。そこで、既成の手順書で作業を進めることにも慣れるという目的を持ってみたのです。もし、既成の手順書がわかりにくいときは、自分にとって、どんな情報があればいいのか、それを自ら感じ、誰かに聞くということにつなげたいというねらいを持っています。

手順書の情報以外に、人のアドバイスを受ける、人の作品を見て自分の作品に取り入れる。集団行動では、ごく普通に行われることですが、「それもありがたよ」と教えられて、安心して情報交換ができた子ども達でした。これからは、他の集団行動の場面でも、同じように仲間との情報交換ができればいいと思います。

出来上がったリースは、お花いっぱい、とても華やかなリースばかり。まだ雪が降るこの季節ですが、もう春はそこまで来ているようです。



〔こんなところにも参加しています〕

益田市の障がい者自立支援協議会会議や島根県西部発達障害者支援センターウィンドのブロック会議など、毎回、他の団体さんと意見交換できる場に発達障害児支援サークル「のびのび」を代表して数名が参加しています。